

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時 令和元年10月10日(木) 3校時
 場 所 島根県立浜田ろう学校
 対 象 小学部3年生～5年生 4名
 指導者 教員4名
 埋蔵文化財調査センター職員 1名

1 単元(題材名)「火おこし体験 ～歴史を感じよう～」

2 目標

- ・古い道具を触ったり、令和、平成、昭和等の元号を知ったりすることで、歴史に興味をもつ。
- ・昔の火のおこし方に興味を持ち、宿泊学習に向けてそのやり方を学ぼうとする。

3 展開

展開時間等	活動内容	支援内容 ※自立活動に関する支援には	準備物等
13:50	○始まり ○この道具なんだ? ・何に使う道具か当てる ・触ってみよう ○歴史の流れを知る ・元号の巻物で歴史の流れを感じよう ・昔の道具が使われていた時期を知る ・本物の土器を見たりさわったりする ○火おこしの手順確認 ・火おこしの手順を確認する(手本) ・安全に行うための注意点を確認する (なぜあぶないかを明確に) ・火をおこしてみよう	・予定表を見せることで何をするか明確にし、活動に対する安心感を持てるようにする。 ・昔の形と今の形が分かるように、また昔の人の暮らしを想像できるように写真や絵などを用意しておく。 ・道具がどのように使われていたかを自分の言葉で表現できるようにする。動作を表す擬音などを使いながら豊かな言語表現ができるようにする。 ・令和から始まり、だんだん時代をさかのぼっていくことで、歴史の流れを感じられるようにする。古い道具として見ていた物が、以外と最近の物で、もっとも昔があることに気づけるようにする。 ・各自火おこしをしていく。手順や気をつけること等を視覚的に示すことで、理解できるようにする。 ・火がうまくつかないときは、どうして火がつかなかったかを考えさせるとともに、子ども塾担当の方に聴くようにしたり、教員と一緒にやったりする。	昔の道具 写真・絵 元号巻物 火おこし セット
14:45	○終わり		

4. 準備物

(学校・児童) 軍手

(埋文センター) 火おこしセット(6組)

土器セット(弥生土器、須恵器)、カメラ、説明用パネル